

講義コード	1156	科目区分	社会福祉士関連科目
(フリガナ)	シャカイフクシエンジョギジュツロンヨン	(フリガナ)	ヨコヤマジュンイチ
授業科目名	社会福祉援助技術論Ⅳ	担当教員名	横山順一
英文授業科目名	Theory of Socialwork4		
基準年次(開講期)	3年次(後期)	履修形態	選択科目/社会福祉士国家試験受験指定科目
曜日/時限/講義室	火曜日/4時限/314教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義中心/学外実践学習あり
単位	4	週時間	4
授業のキーワード	援助技術、対人援助		
授業概要・目的	本講義は、実際に対人援助を行う際に必要とされる知識を習得することを目的とする。ボランティアや社会福祉実習その他の場面でコミュニケーションや信頼関係作り、援助をするにあたり、客観的な視点に基づいて実践できるように、必要な知識を涵養する。		
到達度評価の 評価項目	(1)ソーシャルワーカーの業務内容について論述することができる (2)相談援助の理論を具体的な手法として理解することができる		
授業計画			
第1、2回	初回講義オリエンテーション、相談援助における対象の理解 講義の進め方、注意事項についての相互理解を進める。本学の教育方針における本科目の意義の理解について		
第3、4回	ケースマネジメント		
第5、6回	グループを活用した相談援助		
第7、8回	コーディネーションとネットワーキング		
第9、10回	相談援助における社会資源		
第11、12回	さまざまな実践モデル		
第13、14回	さまざまなアプローチ1 ソーシャルワークの出発点から問題解決アプローチまで		
第15、16回	さまざまなアプローチ2 問題解決アプローチ以降の各アプローチ		
第17、18回	スーパービジョンとコンサルテーション		
第19、20回	ケースカンファレンスの技術		
第21、22回	相談援助における個人情報の保護		
第23、24回	相談援助におけるICTの活用		
第25、26回	事例研究、事例分析		
第27、28回	相談援助の実際		
第29、30回	後期まとめ		
教科書・参考書等	教科書:社会福祉士養成講座編集委員会(2015)新社会福祉士養成講座8「相談援助の理論と方法Ⅱ 第3版」、中央法規出版 参考書:各出版社から刊行されている社会福祉士受験対策用のワークブック等		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	援助技術を理論的に学ぶ科目ですが、学びを学びだけで終わらせないために、一部時間を学外での実践学習とする		
履修上の注意・ 受講条件等	社会福祉士受験科目「相談援助の理論と方法」の指定科目でもありますので、社会福祉士を目指す学生は特に余すことなく学び、理解を深めてほしいと思います。		
成績評価の基準等	学期末試験とレポート課題(不定期)によって評価する。学期末試験:90%、レポート課題10%		
メッセージ			
オフィス・アワー	後日オフィスアワーが提示されるので、その時間を積極的に活用してください。		

その他	
-----	--